

\まだある! /

## 実践のヒント

取材ではそれぞれに工夫を凝らす学校の取組と同時に高校生たちにもコミュニケーションについての考えを伺いました。最後に、編集協力委員の先生方が寄せられた実践のヒントを紹介します。

### 先生への インタビューで練習

**場面** 総合的な探究の時間／部活動

● 総合的な探究の時間では、さまざま大人と対話ができる企画をしました。スマートスティックで聞く力や質問力を育成するためまずはインタビュー手法について学び、先生方を相手にしたインタビュー練習をしました。また、部活動では自分の目的や目標を設定する話し合いを通して、どのように先生方に関わってもらおうかを考えさせました。(群馬県立尾瀬高校／田崎潤先生)

### 集団討論の場で 教師はじっと我慢

**場面** 進路指導

● 面接指導やグループディスカッション指導が必要になるタイミングで、集団討論の場を設けていました。「誰かの発言を否定しない」「おへそを話し手の方に向けてうなづきながら聞く」等のルールを設けて、話しやすい雰囲気づくりを工夫しました。話が止まると、ついヒントを出したりして促したくなるのですが、じっと我慢することも大切だと学びました。生徒は話す材料はちゃんともつていて、うまく話す機会を用意できていないだけ、と実感すること多かったです。(京都府／匿名)

### 年間を通して 多様なチームで協働

**場面** 教科の授業

● 地歴科＆公民科の授業で単元ごとにチームを編成し直し、年間を通して多様なチームで「ディスカッションしたり、作品制作をしています。チームのチーフに権限委譲をして、子どもたちの意志決定や合意形成過程を重視しながら授業を開催しています。多様なチームで活動するので、年間の振り返りでは「学級全体のチーム力が上がった」とか、「話し合ったことが当たり前になった」と感じている生徒が増えました。(宮崎・私立・宮崎第一中学校／猪野滋先生)

### ピアカウンセリングの トレーニング

**場面** 任意参加の「土曜講座」

● 希望者を対象に「中大式ピアカウンセリング」の手法を取り入れ、自己理解や傾聴のトレーニングを行っています。ピアカウンセリングとは、心理的な援助のため仲間の話をきくこと。トレーニングによって相談に乗るための大切な要素が向上する可能性が研究によって示されています。参考…横湯園子・編『ピアカウンセラー養成プログラム』自分がわかり、人の話がきける生徒に』かもがわ出版(2010年)。(東京・私立・中央大学杉並高校／大館瑞城先生)

### ゲームのルールを 自分たちで考える

**場面** 人権教育

● 「仲間外れをつくらない仲間づくり」を実践しています。例えば「ピンポンパンゲームをした後に」「車椅子の生徒がいたらどういうルールが必要ですか」と問い合わせたが追加のルールを作成して実際にゲームをします。「ミニミニケーション」はルールがあることで成立しますが、ルールは逆に仲間外れを生み出します。そうならないようには、生徒たちにルールをつくらせていく実践は、通常の授業でのグループワークなど、日々の活動に「ライドバック」されていると感じています。(奈良・私立・智辯学園奈良カレッジ中学部高等部／松本和志先生)

### 演劇の専門家を派遣する 文化庁事業

**場面** こんな支援も

● 公募型で、採択されれば文化芸術団体または個人・少人数の芸術家を派遣する事業。芸術鑑賞や体験の機会だけでなく、複数回の計画的・継続的なワークショップを実施することもできます。(編集部)



文化庁「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」  
<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kodomo/>

### 編集協力委員の先生方に聞いた 「高校生の今」

この10年で見れば、中学校での学習の変化もあり、高校入学時点でペアウォークやグループワークなどの活動に拒否感や忌避感を示す生徒が大きく減少している実感がある  
(大阪府立桜塚高校／田上 浩先生)

少人数クラス等、発言しやすい雰囲気の中では、自己表現をしやすいように感じています  
(千葉県立大原高校／宮澤 勝先生)

人とのつながりや対話の機会が不足している影響か、自分が考えていることをうまく整理し、他者に伝えることが難しいと感じている生徒が多い印象を受けている  
(北海道立北海道標茶高校／今野翔介先生)

デジタルネイティブなSNS世代に加え、多感な小学校高学年から中学生の時期をコロナの制限下にすごした高校生のコミュニケーション感覚は、極めて個人差が大きく、多様という言葉でくるしかなく、とまどいを感じています  
(大阪府立桜塚高校／田上 浩先生)

### 高校生が考える 「コミュニケーションとは」

自分と相手との共通点と相違点を丁寧に探し、見つけ出すこと  
(海城高校・中谷さん)

この人と一緒にやりたいと思つてもらえるよう、相手の気持ちをつかむこと  
(海城高校・松尾さん)

話すことだけだと思ってました  
(天草高校倉岳校・菊池さん)

一人ひとり違う、相手の距離感に合わせること  
(天草高校倉岳校・長尾さん)

楽しくしゃべれること  
(刈谷東高校・荒木さん)

相手を知ること。  
知れるとすごく楽しい!  
(刈谷東高校・斎藤さん)

自分から話しかけたり、  
自分のことを  
相手に話すこと  
(刈谷東高校・竹内さん)

相手を知ろうとすること  
(中条高校・平田さん)  
相手がどう思うか考えています  
(中条高校・本間さん)